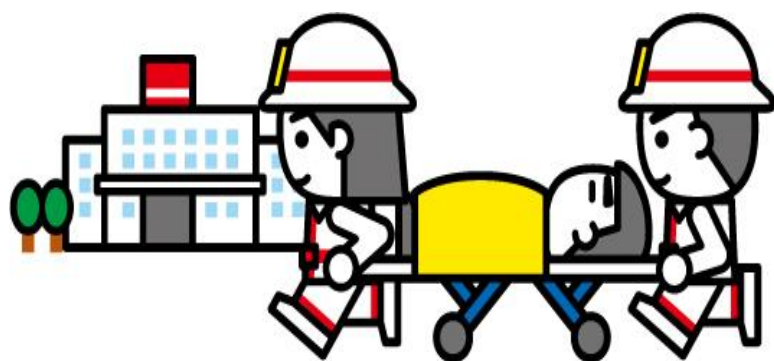


平成29年
救急統計



天童市消防本部

は じ め に

この統計は、天童市において平成29年に救急出動したものを集計し、今後における円滑な救急業務の推進に資するとともに、市民の理解と協力を得るために作成したものです。

目 次	ページ
1. 救急事故等の種別・区分に使用される用語について……………	1
2. 救急の概要……………	2・3
3. 前年との比較……………	4
4. 地区別・事故種別出動件数……………	4
5. 月別・事故種別出動件数と搬送人員……………	5
6. 曜日別出動件数と搬送人員……………	6
7. 年齢別・性別・事故種別搬送人員……………	7
8. 時間別出動状況……………	8
9. 覚知状況……………	8
10. 発生場所別・事故種別搬送人員……………	9
11. 119番通報から現場到着までの時間……………	10
12. 119番通報から収容までの時間……………	11
13. 医療機関別搬送人員……………	12
14. 救急隊員の行った応急処置……………	13
15. 事故別・傷病程度別搬送人員……………	14
16. 月別・出動件数別日数……………	15
17. 過去10年間の出動件数及び搬送人員の推移……………	16
18. 応急手当普及啓発活動状況……………	16

1. 救急事故等の種別・区分に使用される用語について

この統計の用語、分類等については、総務省消防庁の『救急事故等報告要領』を準用しております。

1. 火 災

火災現場において直接火災に起因して生じた事故をいう。

2. 自然災害事故

暴風、豪雨、豪雪、洪水、高潮、地震、津波、噴火、雪崩、地滑り、その他の異常な自然現象に起因する災害による事故をいう。

3. 水難事故

水泳中(運動競技によるものを除く)の溺者又は水中転落等による事故をいう。

4. 交通事故

すべての交通機関相互の衝突及び接触又は単一事故若しくは歩行者等が交通機関に接触したこと等による事故をいう。

5. 労働災害事故

各種工場、事業所、作業所、工事現場等において就業中発生した事故をいう。

6. 運動競技事故

運動競技の実施中に発生した事故で直接運動競技を実施している者、審判員及び関係者等の事故をいう。

7. 一般負傷

他に分類されない不慮の事故をいう。

8. 加 害

故意に他人によって傷害等を加えられた事故をいう。

9. 自損行為

故意に自分自身に傷害等を加えた事故をいう。

10. 急 病

疾病によるもので救急業務として行ったものをいう。

11. そ の 他

転院搬送、医師、看護師搬送、医療資器材等の輸送、その他のものをいう。

2. 救急の概要

1. 救急出動件数及び搬送人員の状況

平成29年の救急出動件数は2,331件、前年と比べ60件の減となり、1日平均6.4件(前年6.6件)となっています。

搬送人員は2,207人、前年と比べ41人の減となっています。これは、市民約28人に1人が搬送されたこととなります。(人口は平成29年12月末日)

また搬送人員のうち、半数以上の1,329人(60.2%)が本市以外の医療機関に搬送されており前年(61.4%)と比べ1.2%減少しております。

2. 事故種別出動件数の状況

出場件数を事故種別ごとにみると、急病が1,480件(63.5%)で前年より1件の増となっており、転院搬送が328件(14.1%)で前年と比べ27件の減、一般負傷が294件(12.6%)で前年と比べ3件の増、交通事故が163件(7.0%)で前年と比べ9件の減で、前年と同様に急病が半数以上を占めています。

3. 年齢別搬送人員の状況

搬送人員を年齢別にみると、高齢者(65歳以上)が1,346人(61.0%)と最も多く、次いで成人(18歳以上65歳未満)699人(31.7%)の順となっており高齢者の搬送人員が半数以上を占めております。

4. 119通報から現場到着までの時間

119番通報から現場到着までに要した時間をみると、5分未満が317件(13.0%)5分以上10分未満が1,559件(68.1%)となっており、10分未満での現場到着が全体の81.1%となっています。

また、現場到着までの平均所要時間は7分31秒で、平成28年の全国平均8分30秒と比べ、59秒早くなっています。

5. 119通報から医療機関に収容するまでの時間

119番通報から医療機関に収容するまでに要した時間をみると、30分以上60分未満が 1,578人(71.5%)」で最も多く、次いで20分以上30分未満が 456人(20.7%) の順となっています。

また、医療機関収容までの平均所要時間は38分48秒で、平成28年の全国平均39分18秒と比べ、30秒早くなっています。

6. 傷病程度別搬送人員の状況

搬送人員を傷病程度別にみると、入院加療を必要としない軽傷が最も多く852人(38.5%)、次いで中等症が838人(38.0%)、重症456人(20.7%)、死亡61人(2.8%)の順となっています。

7. 応急手当普及啓発活動の状況

地域住民・教育機関・各種団体等に対し応急手当講習会(AED講習を含む)を100回(昨年97回)実施し、2,624人(昨年2,313人)が受講しております。

また、事業所等で独自に応急手当普及員が、応急手当講習会を延べ21回(昨年23回)行っており、388人(昨年477人)が受講しております。

救命率向上のため、応急手当普及員の育成にも力を入れながら、より多くの市民に対する応急手当の普及が不可欠と思われれます。

3. 前年との比較

事故種別 区分 (年)		合 計	火 災	自然災害	水 難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加 害	自損行為	急 病	そ の 他			
													転院搬送	医師搬送	資器材等送	輸 送 その他
29	出動件数	2,331	3			163	22	16	294	4	14	1,480	328			7
	搬送人員	2,207	3			186	22	16	277	2	9	1,364	328			
28	出動件数	2,391	1			172	24	28	292	7	27	1,478	355			7
	搬送人員	2,248	1			184	23	28	275	4	20	1,358	355			
前 の 年 比 と 較	出動件数	-60	2			-9	-2	-12	2	-3	-13	2	-27			
	搬送人員	-41	2			2	-1	-12	2	-2	-11	6	-27			

—は減を示す

4. 地区別・事故種別出動件数

事故種別 地区別	合 計	急 病	交通事故	一般負傷	そ の 他 (※)
合 計	2,331	1,480	163	294	394
天 童	879	531	63	115	170
成 生	116	89	8	16	3
蔵 増	123	97	10	16	0
寺 津	58	48	2	8	0
津 山	409	201	14	40	154
田 麦 野	3	2		1	0
山 口	186	120	15	30	21
高 揃	191	135	15	24	17
干 布	118	70	8	18	22
荒 谷	95	80	1	10	4
長 岡	150	107	24	16	3
そ の 他	3		3		0

※ 事故種別の「その他」とは、火災・自然災害・水難・労働災害・運動競技・加害・自損行為・その他(転院)をいう。

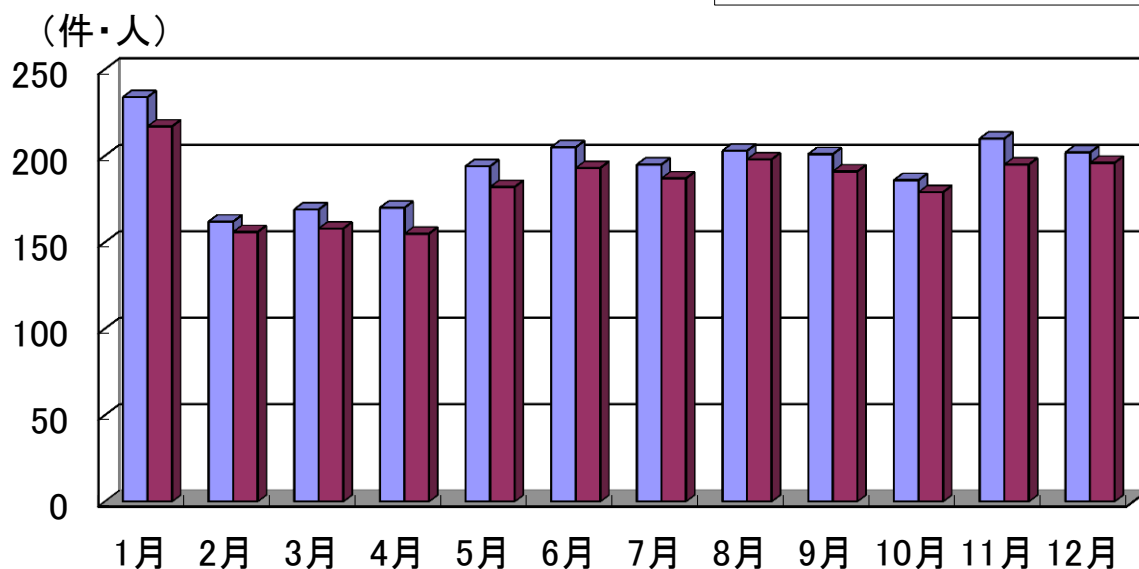
5. 月別 ・ 事故種別出動件数と搬送人員

上段は出動件数
下段は搬送人員

事故種別 月 別	合 計	火 災	自然 災害	水 難 事 故	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他			
												転 院 搬 送	医 師 搬 送	資 器 材 等 送	輪 船 送
合 計	2,331	3			163	22	16	294	4	14	1480	328			7
	2,207	3			186	22	16	277	2	9	1364	328			
1 月	234				9	1		32	1	2	158	29			2
	217				12	1		27			148	29			
2 月	162				7	1	2	24		1	106	21			
	156				7	1	2	22		1	102	21			
3 月	169	1			8	3		11		3	107	34			2
	158	1			12	3		9		2	97	34			
4 月	170				11	3	1	19			122	14			
	155				10	3	1	19			108	14			
5 月	194				16		2	29		4	108	34			1
	182				20		2	27		3	96	34			
6 月	205				14	3	1	23			126	38			
	193				14	3	1	23			114	38			
7 月	195				10	2	2	28			119	34			
	187				12	2	2	28			109	34			
8 月	203				21	2	3	30			122	25			
	198				27	2	3	31			110	25			
9 月	201				15	2	1	29	1	2	126	25			
	191				16	2	1	28	1	2	116	25			
10月	186	1			12	1		20		2	123	26			1
	179	1			14	1		18		1	118	26			
11月	210				17	2	3	26	2		131	28			1
	195				19	2	3	24	1		118	28			
12月	202	1			23	2	1	23			132	20			
	196	1			23	2	1	21			128	20			

月別・出動件数と搬送人員

■ 出動件数 ■ 搬送人員



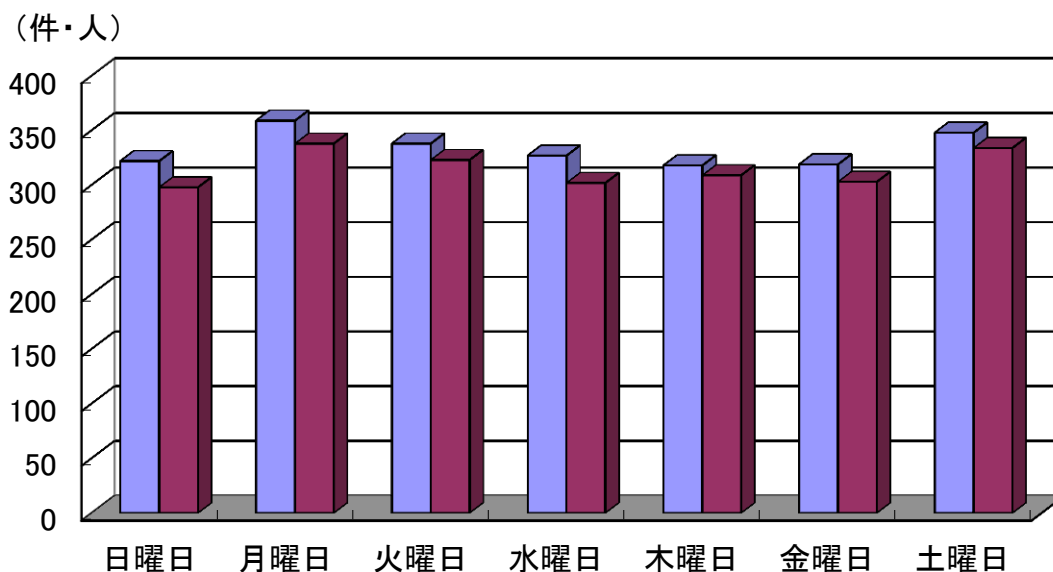
6. 曜日別出動件数と搬送人員

上段は出動件数
下段は搬送人員

事故種別 曜日別	事故種別												
	合計	火災	自然災害	水難事故	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	転院	その他
合計	2,331	3			163	22	16	294	4	14	1,480	328	7
	2,207	3			186	22	16	277	2	9	1,364	328	
日	322	2			15	1	5	51	2	2	222	21	1
	298	2			20	1	5	48	1	2	198	21	
月	359				27	2	1	42	1	4	221	61	
	338				26	2	1	38	1	1	208	61	
火	338				32	2	2	36	1	2	207	54	2
	323				36	2	2	33		1	195	54	
水	327				22	6	1	42			201	54	1
	302				22	6	1	41			178	54	
木	318				21	5	1	39			194	56	2
	309				28	5	1	39			180	56	
金	319				18	5		39		2	206	49	
	303				23	5		37		1	188	49	
土	348	1			28	1	6	45		4	229	33	1
	334	1			31	1	6	41		4	217	33	

曜日別出動件数と搬送人員

■ 出動件数 ■ 搬送人員

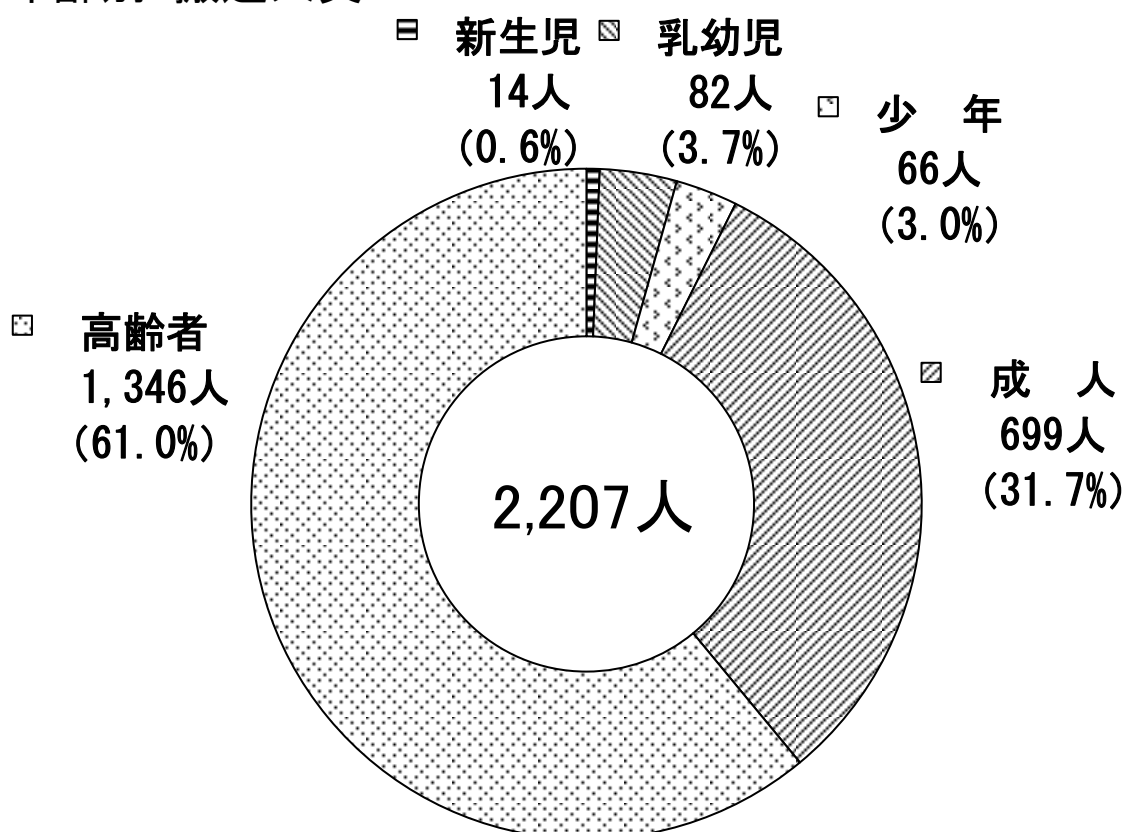


7. 年齢別・性別・種別搬送人員

事故種別		合計	火災	自然災害	水難事故	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他
合計		2,207	3			186	22	16	277	2	9	1,364	328
計	男	1,103	2			67	19	10	141	2	3	707	152
	女	1,104	1			119	3	6	136		6	657	176
新生児		14										1	13
乳幼児		82				5			19			54	4
少年		66				19	1	9	4			31	2
成人		699	2			119	19	5	65	2	7	390	90
高齢者		1,346	1			43	2	2	189		2	888	219

新生児 生後28日以内の者
 乳幼児 生後29日以上7歳未満の者
 少年 7歳以上18歳未満の者
 成人 18歳以上65歳未満の者
 高齢者 65歳以上の者

年齢別・搬送人員



8. 時間別出動状況

事故種別 時間別	合計	火災	自然災害	水難事故	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他
合計	2,331	3			163	22	16	294	4	14	1,480	335
0～2	79	1			1			11		2	62	2
2～4	75				3			7			63	2
4～6	72	1			4			7			58	2
6～8	155				6	2		24	1	4	116	2
8～10	279	1			16	3	1	43	1	1	187	26
10～12	290				17	3	6	37		2	154	71
12～14	297				22	4	5	29	1		170	66
14～16	265				15	8	2	41			144	55
16～18	241				32	1	2	21		2	124	59
18～20	259				28			31		2	173	25
20～22	182				11			26	1	1	128	15
22～24	137				8	1		17			101	10

9. 覚知状況

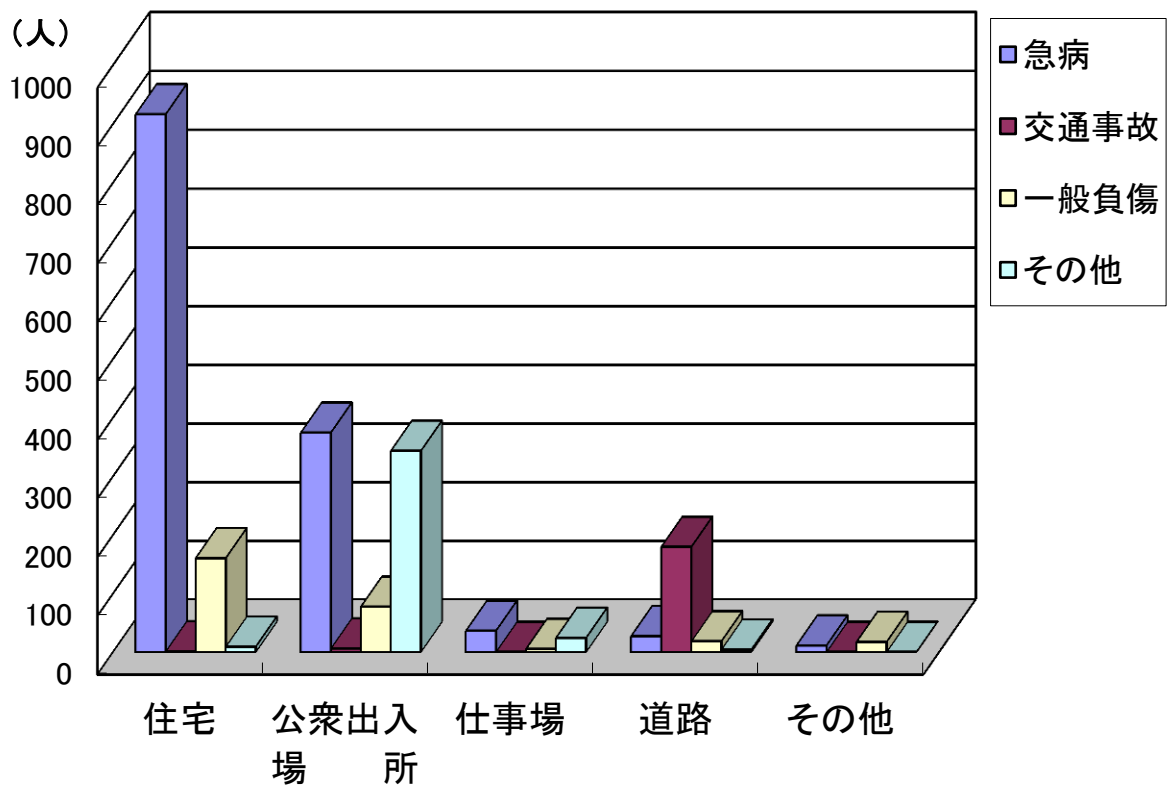
覚知種別 件数・比率	119番	携帯119番	一般加入	警察直通	駆け付け	その他
出動件数 2,331	1,373	775	94	62	12	15
比率 100%	58.9%	33.3%	4.0%	2.7%	0.5%	0.6%

※覚知種別【その他】:消防無線 14件・口頭覚知 1件

10. 発生場所別・事故種別搬送人員

発生場所別 \ 事故種別	合 計	急 病	交 通 事 故	一 般 負 傷	そ の 他
合 計	2,207	1,364	186	277	380
住 宅	1,086	916	1	160	9
公 衆 出 入 所	800	374	6	77	343
仕 事 場	65	36		5	24
道 路	228	27	179	18	4
そ の 他	28	11		17	

発生場所と搬送人員



住 宅 一般住宅及び共同住宅等で住居として使用している場所をいう。

公衆出入場所 多数の人が集まる場所をいう。

仕 事 場 工場、作業所、各種事業所等の仕事をしている場所をいう。

道 路 一般道路、高速道路、交差点、歩道及び歩道橋等をいう。

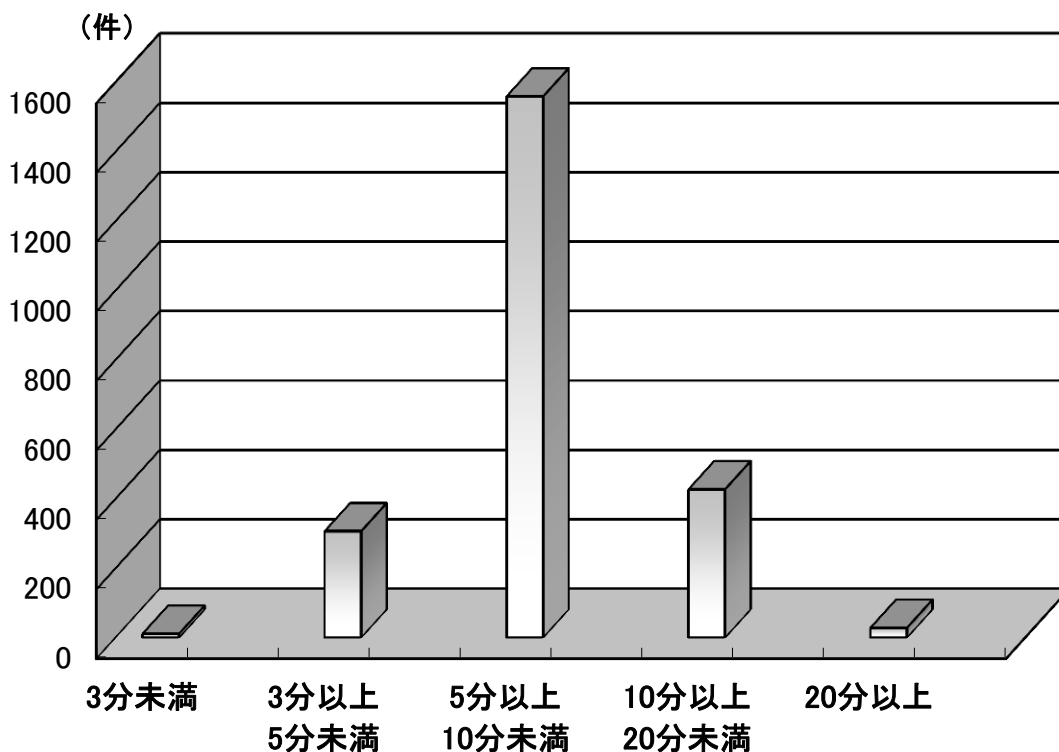
そ の 他 公園、広場、空地等をいう。なお、発生場所が不明なものも含む。

11. 119番通報から現場到着までの時間

所要時間 事故種別	出場件数	所要時間					現着平均 所要時間
		3分未満	3分以上 5分未満	5分以上 10分未満	10分以上 20分未満	20分以上	
合計	2,331	11	306	1,559	427	28	7分31秒
急病	1,480	9	132	1,021	307	11	7分38秒
交通事故	163		7	104	40	12	8分50秒
一般負傷	294		26	208	59	1	7分40秒
その他	394	2	141	226	21	4	5分58秒

現場到着までの平均所要時間 7分31秒
 平成28年全国平均所要時間 8分30秒

現場到着までの所要時間



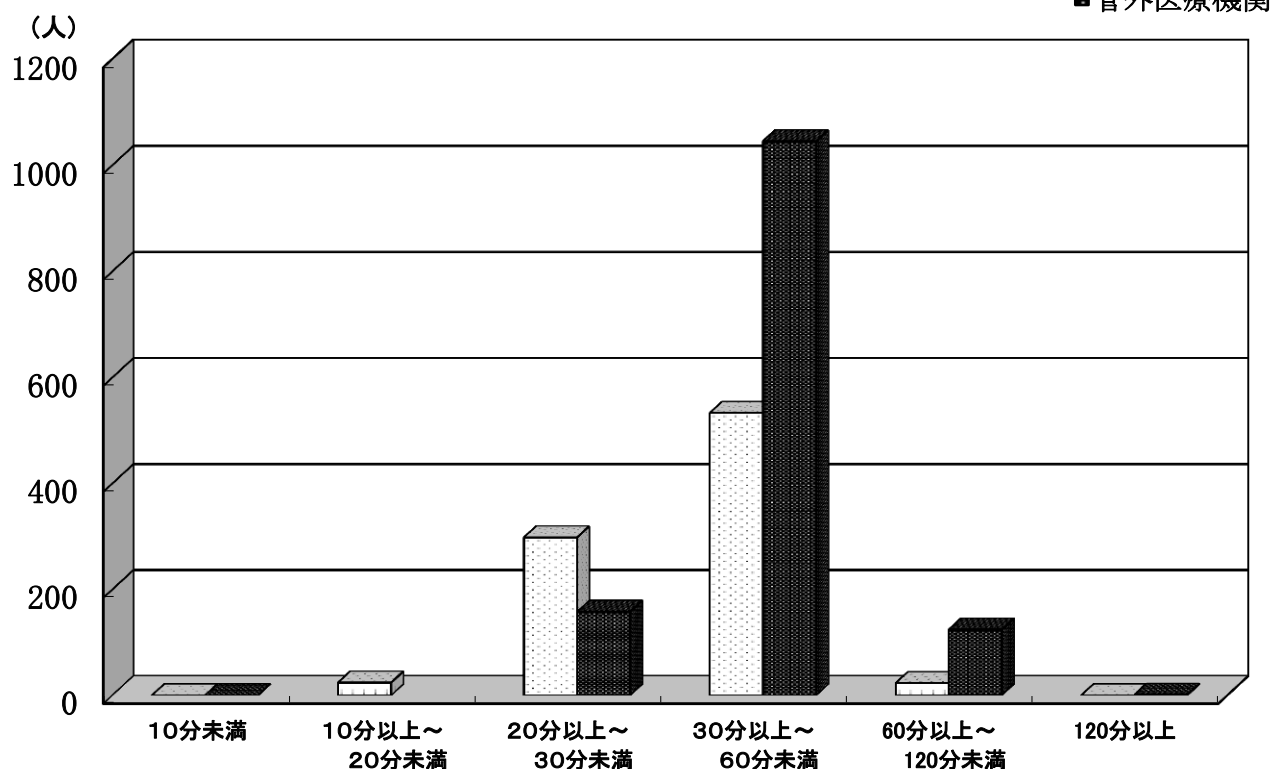
12. 119番通報から収容までの時間

所要時間 事故種別	搬送人員		119番通報から医療機関等に収容するまでに要した時間別人員										収容平均 所要時間		
			10分未満		10分以上 20分未満		20分以上 30分未満		30分以上 60分未満		60分以上 120分未満			120分以上	
	うち管内	うち管外	うち管内	うち管外	うち管内	うち管外	うち管内	うち管外	うち管内	うち管外	うち管内	うち管外			
合計	2,207	1,329			25	1	456	158	1578	1045	147	124	1	1	38分48秒
急病	1,364	821			13		191	31	1057	702	103	88			41分12秒
交通事故	186	73					38	1	132	62	16	10			41分48秒
一般負傷	277	108					73		183	89	21	19			39分30秒
その他	380	327			12	1	154	126	206	192	7	7	1	1	32分36秒

医療機関収容までの平均所要時間
平成28年全国平均所要時間

38分48秒
39分18秒

医療機関収容までの所要時間別搬送人員



13. 医療機関別搬送人員

上段は医療機関搬送人員数

下段はそのうち管外医療機関搬送人員数

告示別等の医療機関		事故種別					
		合計	急病	交通事故	一般負傷	その他	
合計		2,207	1,364	186	277	380	
		1,329	821	73	108	327	
救急告示	小計	2,161	1,326	186	274	375	
		1,300	798	73	106	323	
	国立	88	40	7	3	38	
		88	40	7	3	38	
	公立	1,123	768	42	87	226	
		877	555	40	61	221	
	公的	260	166	22	34	38	
		260	166	22	34	38	
	私的病院	690	352	115	150	73	
		75	37	4	8	26	
	私的診療所						
	非告示	小計	46	38		3	5
			29	23		2	4
		国立	8	7			1
8			7			1	
公立							
公的		3	2		1		
		3	2		1		
私的病院		22	20			2	
		13	12			1	
私的診療所		13	9		2	2	
		5	2		1	2	
その他の場所							

14. 救急隊員の行った応急処置

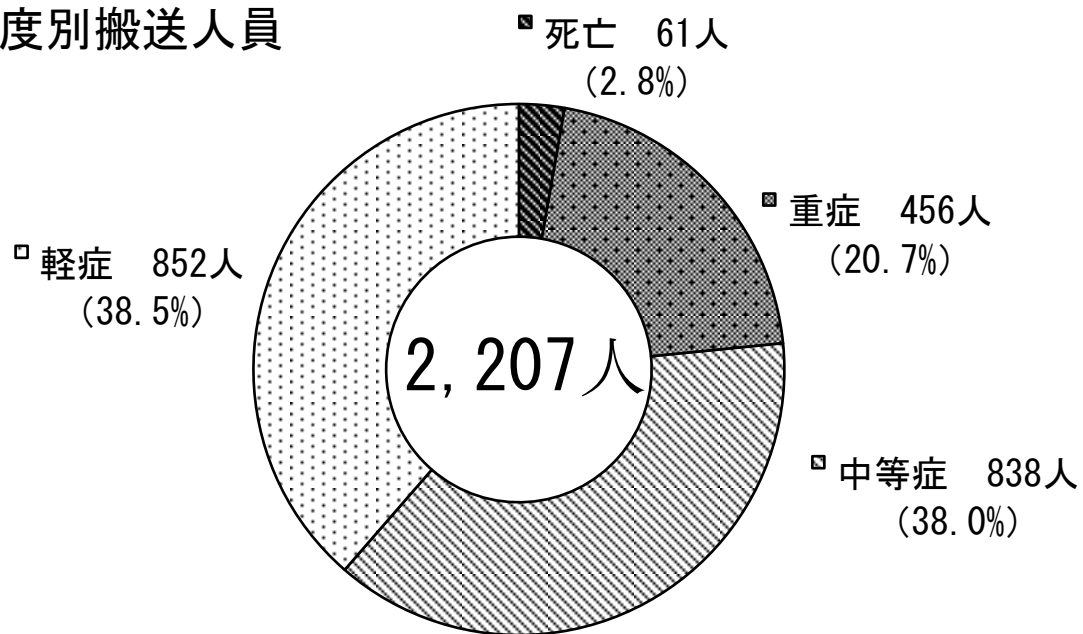
事故種別	合計	急病	交通事故	一般負傷	その他
搬送人員	2,207	1,364	186	277	380
処置対象人員	2,265	1,413	188	283	381
合計	7,378	4,768	561	866	1,183
止血	67	14	7	31	15
固定	131	2	92	24	13
人工呼吸	7	4		1	2
胸骨圧迫	13	11		1	1
心肺蘇生	64	51	1	10	2
酸素吸入	436	312	5	20	99
気道確保	82	65	1	10	6
※1	5	4		1	
※2	5	3		2	
※3	1	1			
※4					
保温	46	26	6	7	7
被覆	153	20	29	83	21
在宅医療法継続	38	34		2	2
※A					
※B	12	11		1	
※C	26	23		1	2
ショックパンプ					
除細動	5	5			
静脈確保	17	14		1	2
心肺機能停止後	9	7		1	1
心肺機能停止前	8	7			1
薬剤投与	5	4			1
ブドウ糖溶液投与	5	5			
血糖値測定	92	84	1	5	2
エピペン投与					
その他の応急処置	417	286	17	54	60
血圧測定	2,132	1,322	183	263	364
聴診器による聴取	327	246	17	21	43
血中酸素飽和度測定	2,180	1,348	186	273	373
心電図	1,161	915	16	60	170

- 注1 ※1 経鼻エアウェイによる気道確保。
 ※2 喉頭鏡・鉗子による異物除去。
 ※3 救命士がラリングアルマスク等を使用した気道確保。
 ※4 救命士が気管挿管をした気道確保。
 ※A 在宅中心静脈栄養管理・在宅化学療法による点滴者への応急処置。
 ※B 気管切開孔・気管瘻・人工肛門等の外瘻処置者への応急処置。
 ※C ※A・※B以外の処置者への応急処置。
- 注2 応急処置の合計欄は、傷病者に対して複数の処置を行う場合もあるため、処置対象の合計とは一致しない。

15. 事故種別・傷病程度別搬送人員

事故種別 程度別	合計	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他
合計	2,207	3			186	22	16	277	2	9	1,364	328
死亡	61				1			6		1	52	1
重症	456				11	4		69	1	2	253	116
中等症	838	2			30	8	5	80		6	530	177
軽症	852	1			144	10	11	122	1		529	34
その他												

傷病程度別搬送人員



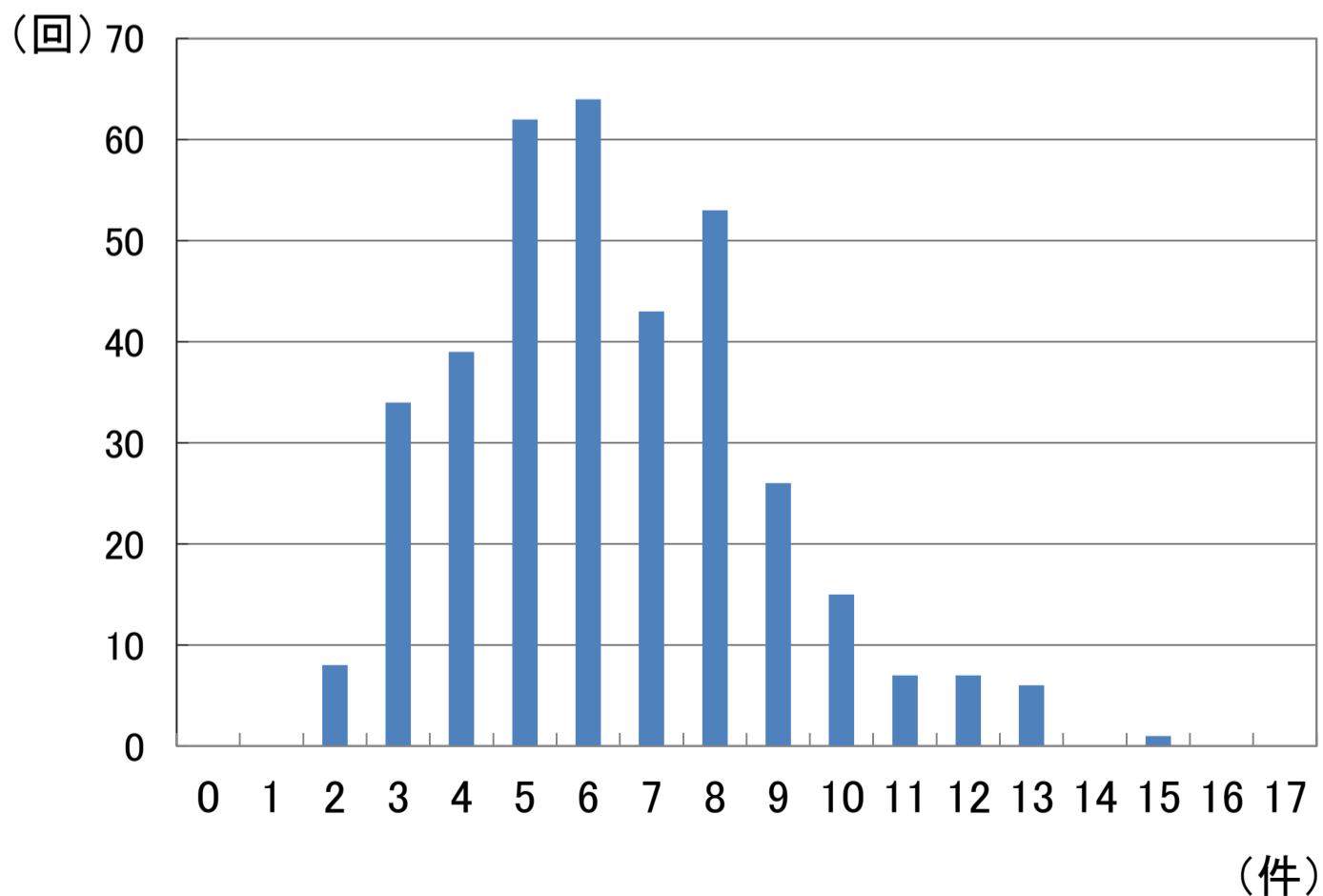
傷病程度は、初診時における医師の診断に基づき、次の5種類に分類する。

- 1 死亡とは、初診時において死亡が確認されたものをいう。
尚、傷病者があきらかに死亡している場合、又は医師が死亡していると診断した場合は、原則として搬送しない。
- 2 重症とは、初診時の程度が3週間以上の入院加療を必要とするものをいう。
- 3 中等症とは、初診時の程度が入院加療が必要で重症に至らないものをいう。
- 4 軽症とは、初診時の程度が入院加療を必要としないものをいう。
- 5 その他とは、医師の診断のないもの及び「その他の場所」へ搬送したものをいう。

16. 月別・出動件数別日数

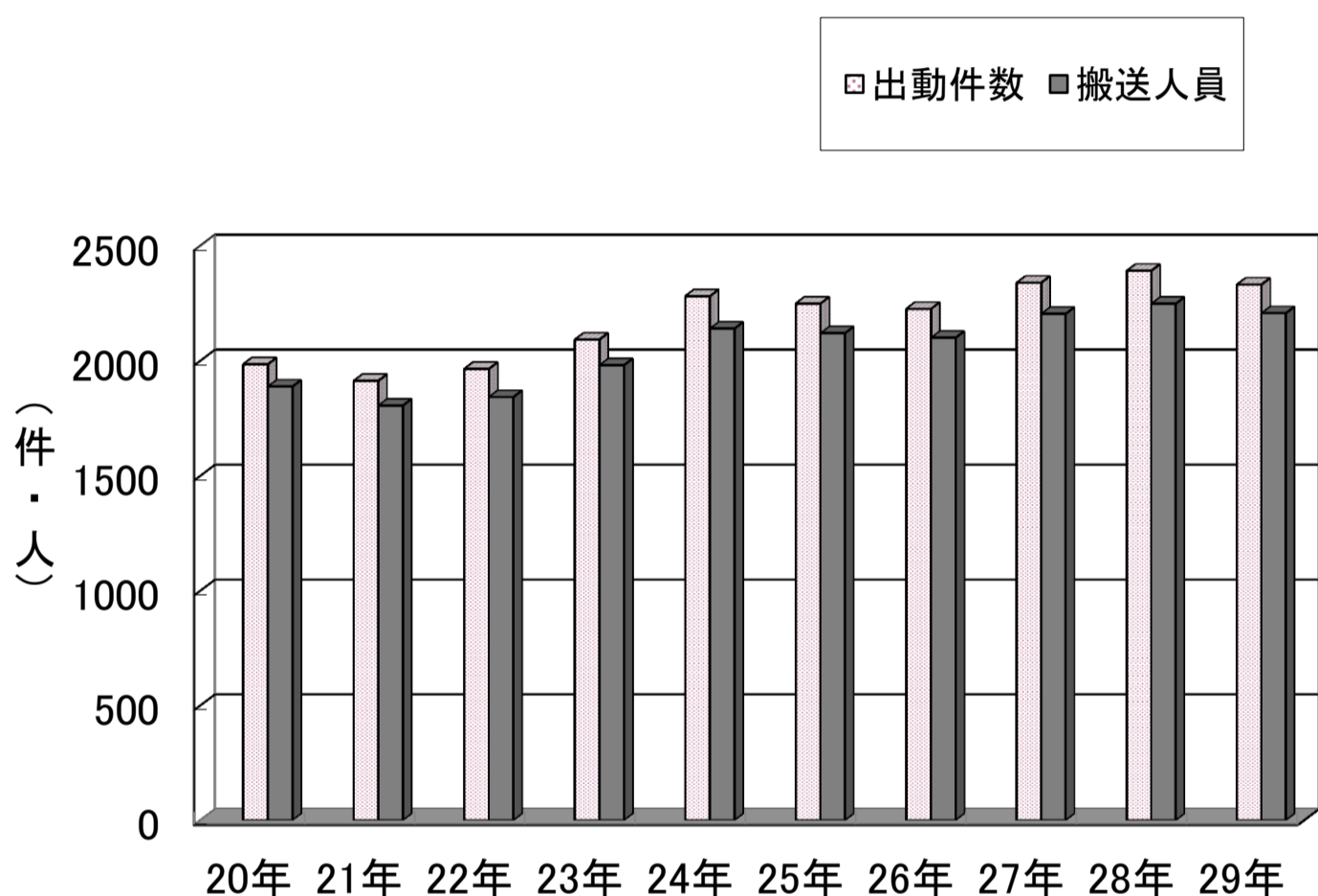
件数 月別	0件	1件	2件	3件	4件	5件	6件	7件	8件	9件	10件	11件	12件	13件	14件	15件	16件	17件	月 件 数	同時出動件数				
																				2 隊	3 隊	4 隊	5 隊	
合 計			8	34	39	62	64	43	53	26	15	7	7	6		1				2,331	490	101	17	1
1 月				1	1	7	2	6	7	2			3	1		1				234	44	16	6	1
2 月			1	3	3	6	5	4	4	1	1									162	36	7	1	
3 月				7	3	6	8	1	3	3										169	27	4	1	
4 月			2	4	2	9	4	3	2	3				1						170	26	6		
5 月				3	5	5	6	4	3	3			1	1						194	42	8		
6 月			1	3	3	3	3	3	7	1	4	1	1							205	44	12		
7 月			1	2	5	4	5	4	5	4				1						195	35	5		
8 月				4	1	5	7	3	5	2	3	1								203	55	10	3	
9 月			1	2	5	3	6	3	1	3	3	1	1	1						201	53	8	3	
10月			1	3	1	8	6	5	5		2									186	35	10		
11月					7	2	5	3	6	3		3		1						210	44	8		
12月			1	2	3	4	7	4	5	1	2	1	1							202	49	7	3	

1日の出動件数



17. 過去10年間の出動件数及び搬送人員の推移

件数・人員	年										
	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年	
出 動 件 数	1,985	1,913	1,965	2,092	2,281	2,249	2,226	2,339	2,391	2,331	
搬 送 人 員	1,888	1,806	1,843	1,981	2,140	2,120	2,100	2,204	2,248	2,207	



18. 応急手当普及啓発活動状況

	教育機関		事業所		防災組織		一般市民等		消防団		福祉・乳幼児施設		合計	
	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
普通救命	3	46	11	149	3	61	3	45	3	72			23	373
一般講習	12	524	19	519	13	407	11	321			22	480	77	2,251
普及員講習														
合 計	15	570	30	668	16	468	14	366	3	72	22	480	100	2,624
指導員	48		77		46		31		8		55			